

# 2022年度「自己評価結果報告書」

当園ではこの度、2022年度の幼稚園学校評価として、教職員自己評価を実施いたしました。教職員一人ひとりが、自らの教育活動や園運営の状況を振り返ることで、自身や園全体を見つめ直すいい機会となりました。

また、それぞれの評価結果について、皆で話し合うことにより、成果や今後の課題、改善の方向性などを明らかにすることができました。この結果を深く受けとめ、更なる教育活動の充実、教育環境の整備、教職員の資質向上に努めてまいります。

## I. 教育目標

カトリックの精神に基づきながら、子ども達に暖かい雰囲気と良い環境を整え、時代に適した保育を行いたいと考えています。

その為に常に家庭、特に母親との連絡を密にし、神様を愛し、他人をも愛する事の出来る心を養い、自立心や正しい躰を身につけさせたいと願っています。

又、自然とふれあう機会を持つことによって、全てのものが持つ命の大切さを教えると共に、情操教育に重点を置き、遊びの中から明るく素直な、思いやりのある幼児に育てることを目的にしています。

## II. 今年度の重点目標

●教育内容の見直し・質の向上  
実

●安全・衛生危機管理の充実

●教職員感の連携の充

## III. 評価項目と取組み状況

重点課題		評価項目	具体的に取組めたこと	
1	教育内容の見直し 質の向上	<ul style="list-style-type: none"><li>全ての行事を必ずゼロから考える。</li><li>令和2年の新しい発見を大切にす</li></ul>	A-	昨年度の反省点を踏まえ、その都度、内容（日程・時間、父兄参加方法等）を見直していくことができた。 70周年記念祝賀会開催、お泊り保育や敬老保育参観の実施、未就園児見学会や入園試験の日程増加等、様々な取り組みを行えた。
2	安全・衛生 危機管理の充実	<ul style="list-style-type: none"><li>感染症対策にきちんと防災訓練も加えていく。</li></ul>	A	日々の消毒、全園児不織布マスク着用、フェイスシールドに黙食等、感染症対策は定着してきた。 また、対策強化のため全保育室に空気清浄機設置。 引取訓練を実施し、保護者との連携体制の見直し、地震、Jアラート、不審者等様々な想定訓練をし防災意識を高めた。
3	教職員間の連携 の充実	<ul style="list-style-type: none"><li>学年のみならず、特に行事の時などは学年の枠を超えて全体を見ることが出来る目をひとりひとり養う。</li><li>職員の分担（まめーる他、パソコン関係、緊急事態の対応等）をし、「2人以上体制」を充実させ、強力な対応能力を養う。</li></ul>	A-	学年を超えて子供の様子等、情報を共有したり、行事等の打合せでは意見を出し合うことで保育も充実し、連携協力を努めることができた。 書類作成等の仕事は分担は2人以上体制を取ることが難しい時があった。

# 2022年度「自己評価結果報告書」

学校法人 枝光学園  
枝光学園幼稚園

重点課題		評価項目	具体的に取り組めたこと	
4	自己管理	<ul style="list-style-type: none"> <li>ひとりひとりがプロ意識をもち、仕事に挑む。</li> </ul>	A-	一人ひとりが意識を高く持ち、各々が得意分野で力を発揮し、不得意分野をカバーし合うことで全体としての質の向上に繋がった。
5	カトリックの幼稚園として	<ul style="list-style-type: none"> <li>神父様またはシスターのご来園を願う。</li> <li>もっともっと神様の温かい話をしていきたい。</li> </ul>	A	神父様のご来園は叶わなかったが、保護者向けの聖書の会、職員向けの神父様のお話（3学期より）、枝組カテドラル見学実施。光の子、こじか、毎日の祈りなどを大切に読み、子どもたちの心に届くようお話をし、神様の存在を伝えることができた。
6	保護者との連携・対応	<ul style="list-style-type: none"> <li>これからも、ただ話してだけでなく、文章として渡していくことも続けたい。</li> <li>心配そうな方、困っている方をすぐに探し、話が聞ける体制を心していきたい。</li> </ul>	A	園長面接を全学年で実施（枝組は子ども達とも）し、子ども達の家庭での様子や成長の様子を分かち合ったり、保護者の不安や要望を受け止める機会を作れた。

### 【評価の基準】

A	十分達成されている
B	達成されている
C	取組まれているが、成果が十分でない
D	取り組みが不十分である

## IV. 今後取り組むべき課題

1	教育内容の見直し 質の向上	<ul style="list-style-type: none"> <li>全ての行事を必ずゼロから考える。</li> <li>令和2年の新しい発見を大切にする。</li> </ul>
2	安全・衛生 危機管理の充実	<ul style="list-style-type: none"> <li>感染症対策にきちんと防災訓練も加えていく。</li> </ul>
3	教職員間の連携 の充実	<ul style="list-style-type: none"> <li>学年のみならず、特に行事の時などは学年の枠を超えて全体を見ることが出来る目をひとりひとり養う。</li> <li>職員の分担（まめーる他、パソコン関係、緊急事態の対応等）をし、「2人以上体制」を充実させ、強力な対応能力を養う。</li> </ul>
4	自己管理	<ul style="list-style-type: none"> <li>ひとりひとりがプロ意識をもち、仕事に挑む。</li> </ul>
5	カトリックの幼稚園として	<ul style="list-style-type: none"> <li>神父様またはシスターのご来園を願う。</li> <li>もっともっと神様の温かい話をしていきたい。</li> </ul>
6	保護者との 連携・対応	<ul style="list-style-type: none"> <li>これからも、ただ話してだけでなく、文章として渡していくことも続けたい。</li> <li>心配そうな方、困っている方をすぐに探し、話が聞ける体制を心していきたい。</li> </ul>

## V. 学校関係者の評価

# 2022年度「自己評価結果報告書」

学校法人 枝光学園  
枝光学園幼稚園

重点課題	評価項目	具体的に取り組めたこと
<p>コロナウイルス感染症がまだまだ続く中、園全体で感染予防に全力を尽くしていただいたので、安心して子どもを預ける事が出来ました。</p> <p>またコロナによる制約がある中でも、子ども達の環境作りや、行事運営に工夫をして下さったので、ここ数年の中で1番幼稚園行事を体験させていただき、沢山の子ども達の笑顔を見ることが出来ましたこと、心より感謝しております。</p> <p>そして、全学年の保護者（年長は子どもとも）と園長先生による面談を実施していただき、園と保護者がより子どもたちについてシェアし、悩みを抱えていた保護者も先生にお話を聞いて頂けた事で肩の力を抜いて子どもと向き合うことが出来とても良い機会となったと感じます。</p>		

学校評価委員 青木由紀子

学校評価委員 今村千佳

学校評価委員 藤本菜穂

学校評価委員 萩原直子